

平成22年度における 大田原市教育委員会の活動内容

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、教育委員会は、その権限に属する事務の管理および執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成して議会に提出するとともに公表することが義務付けられています。

そこで、市教育委員会では、平成23年度の報告対象として平成22年度の活動内容について、点検・評価を行い、報告書を市議会へ提出しましたので、その概要についてお知らせします。

●目的

市教育委員会は、毎年、主要な施策や事務事業の取り組みについて点検および評価を行い、課題や取り組みの方向性を明らかにすることにより、効率的な教育行政の一層の推進を図るとともに、市民への説明責任を果たし、市民に信頼される教育行政を推進することを目的とします。

●点検・評価の方法

- ・新大田原レインボープランの基本政策に基づき実施されている主要施策を対象として、点検・評価を行いました。
- ・点検・評価の客観性を確保するため、教育に関して学識経験を有する方からご意見をいただく評価委員会を設置しています。
- ・評価委員会の委員は、次のとおりです。

鈴木 巧氏(元市職員)
人見 英一氏(元小学校長)

吉川 恵造氏(市区長会長)

●点検・評価の構成

- ① 主な施策
新大田原レインボープランの基本政策や教育行政基本方針の重点施策、重点項目に即した施策・事業ごとに点検評価を行いました。
- ② 評価委員の意見
評価委員からいただいた主な意見を記載しています。
- ③ 今後の事業の方向性
点検・評価を踏まえ、今後の事業の方向性を示しています。

教育委員会の活動についての 点検および評価

教育委員会の活動状況

本市の教育委員会は、教育行政における重要事項や基本方針を決定し、それに基づいて教育長が具体的な事務を執行しています。

定例会の定めはありませんが、原則毎月開催しています。また、必要に応じて随時に開催しています。平成22年度の活動状況は次のとおりです。

●平成22年度の活動状況

- 委員会開催 18回
- ・付議内容 議案51件、協議15件、選挙1件
- 学校訪問
- ・訪問日数3日、訪問学校数13校
- その他の活動
- ・議案審議などに伴う現地調査
- ・関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会委員研修
- ・栃木県市町教育委員会連合会委員研修
- ・那須地区市町教育委員会連合会研修

- ・各種大会、行事への出席
- ・市民憲章推進大会、大田原マラソン大会、青少年健全育成事業成人式、小中学校卒業式、小中学校将棋大会 など

●今後の方向

- ・教育委員会は毎月開催を原則としていますが、今後も、毎月開催と必要に応じて随時委員会を開催します。
- ・地域と一体となり、大田原市教育行政基本方針の具現化に向け取り組んでいきます。
- ・学校訪問、学校施設等の視察など、教育現場の現状把握に努め、教育行政の改善、充実を図り、これまで

以上に地域の実情に合った独自の取り組みにより、より一層の教育の質の向上に取り組みしていきます。

教育に関する事務の執行状況 の点検および評価

1 生涯学習の充実

●目標

市民がライフステージに応じて、必要なことから自らの意思で学び、自己実現できるよう、学習の場や交流の場を提供するとともに、生涯学習推進のコミュニケーション活動や住民主体の地域づくりを通して自治意識を高め、「ひとが輝き、まちが輝く、人間性ゆたかな」生涯学習のまちづくりを推進します。

●主な施策

- ・自修館管理運営事業
- ・市民憲章推進事業
- ・地区文化祭事業
- ・ふれあいの丘管理運営事業
- ・図書館管理運営

●評価委員の意見

市民の理解と啓発を図る市民憲章推進事業は、大変意義のあるものと思われ、事業内容を吟味し更なる充実を図ってください。花いっぱい運動の継続実施に努めるとともに、各自治会へ花の苗を十分に供給できるように予算化を図ってください。

市民学習の発表の機会として、また、交流の場として、各地区公民館で実施されている地区文化祭は地域コミュニティや地域文化の創出に大きな役割を果たしているの

で、更に市民に啓発し、より一層の充実を図ってください。

現在の経済情勢や東日本大震災などにより、今後のふれあいの丘の宿泊者数については相当厳しくなるものと考えられますので、さらなる経費削減を図り、効率的な運営に努めてください。

図書館は市民の生涯学習の推進に大きな役割を果たしていますので、施設の修理修繕は計画的に行い利用しやすい環境づくりに努めてください。

市街地再開発ビルへの図書館移転にあたっては、市民のニーズや社会情勢の変化に対応した施設になるよう努めてください。

●今後の事業の方向性

・自修館は中学生・高校生が集中して勉強できる最適な学習施設なので、今後も継続するとともに、特に高校生へのPRに努める。

また、市街地再開発ビル内への図書館の移転にあたっては、閲覧室のスペースを十分に確保するよう努める。

・地区文化祭事業は中央公民館主催として市全体の文化祭を実施するよう努める。

・ふれあいの丘施設利用については

県内外都市への積極的なPRに努める。

2 学校教育の充実

●目標

・幼児教育は、人間形成の基礎を培う教育として重要であり、幼稚園、保育園および小学校の連携を密にし、その充実を図ります。

・学校教育は、豊かな心、創造力、心身ともに健康で自ら学ぶ意欲と社会変化に対応できるたくましい「生きる力」と国際的感覚を身に付けた児童生徒を育成するため、学校施設の整備充実に努めるとともに、少子化に対応した学校統合と創意工夫を凝らした特色ある教育を推進します。

●主な施策

・配慮児童生徒支援非常勤講師配置事業（雇用創出総合対策事業）

・学習到達度調査事業

・奨学金貸与事業

・学校施設耐震化事業

・学校給食調理業務民間委託

・黒羽統合中学校建設事業

●評価委員の意見

・特別支援学級に対する保護者の理解を図るとともに設置推進に努めてください。

・学習到達度調査は科学的かつ客観的な調査であり、学校および児童生徒の実態を把握し、学習指導方法の改善や児童生徒個々の学習改

善などにつなげる大変効果的な調査であると考えられますので、今後も継続してください。

・奨学金貸与対象者を明確にするために、「大学等」を「大学」、「大学院」と明記してください。

・黒羽統合中学校温水プールの効果的な活用を図ってください。

●今後の事業の方向性

・発達障害等配慮を要する児童生徒が増加の傾向にある中で、学級経営や学習指導などの充実を図るためには、非常勤講師を配置することは極めて重要であるので継続していく。

・学習到達度調査は調査のための調査に終わらず、結果が一層生かされるよう努める。

・奨学金貸与事業は能力があるにもかかわらず経済的な理由により、就学困難な者を支援する本市独自の意義ある事業なので、今後も継続するとともに効率的に償還が図られるよう努める。

・児童生徒の生命の安全確保が最優先されるので、早急に学校施設の耐震診断・補強工事を進める。

・給食調理員の定数管理の適正化および経費削減を図る上から、学校給食調理業務の民間委託を計画的に進める。

3 青少年の健全育成

●目標

心身ともに健康でたくましく、社会的に自立した青少年を育成するため、親子の絆づくりや青少年の社会参加を促すとともに、総合的な相談および指導体制の充実を図ります。

また、青少年の健全育成を地域全体で支えるため、家庭、学校、地域の連携を図ります。

●主な施策

・地域ぐるみによる青少年健全育成事業

・放課後子ども教室

●評価委員の意見

・次代を担う青少年育成事業は、極めて重要な事業であり、地域ぐるみで推進することにより一層の効果が期待できる。

・子どもの安全安心を確保する場として、放課後子ども教室の設置意義は大きく評価できる。

●今後の事業の方向性

・地域ぐるみによる青少年健全育成事業は、単なる講演会や研修会にとどまらず予算の増額を図り、三世代との交流、青少年のリーダー養成、青少年のボランティア活動などの実践的な事業の展開を図るよう努めていく。

・放課後子ども教室はこども課と連携を密にして、事業内容の充実を図るよう努めていく。



4 文化・芸術の振興

●目標

市民の自主的な文化芸術活動を支援し、芸術鑑賞の機会提供や本市を特色づける文化芸術事業の充実を図るとともに、活動の拠点施設などの整備充実にも努め、心の豊かさや生活の潤いが実感できるまちづくりを推進します。

また、ふるさとを誇りに思う心を育むため、地域文化遺産を後世にのこし、伝統工芸技術などを継承します。

●主な施策

- ・移動音楽鑑賞教室実施事業
- ・歴史民俗資料館運営

●評価委員の意見

優れた芸術に触れることにより豊かな心が醸成されるので、予算の増額を図り事業の継続に努めてください。

・芸術鑑賞助成事業の有効活用にも努めてください。

・歴史民俗資料は価値ある歴史的文化遺産であるので、資料館として、今後も資料の収集・保管・展示に努める必要がある。

●今後の事業の方向性

・音楽鑑賞教室を複数校で合同開催することにより、多くの児童生徒に体験の機会を与えることができるので、今後も継続する。

・周辺の史跡（下侍塚古墳などの古墳群、国造碑など）との関連を図り

ながら、市内外に一層のPRに努めるとともに、専門職員の配置を視野に入れ事業内容の充実を図っていく。

5 スポーツレクリエーションの振興

●目標

市民の生涯にわたる健康と体力向上を図るため、「市民一人1スポーツ」を目標に、スポーツレクリエーション活動の充実、スポーツ施設の整備拡充に努めるとともに、多様なニーズに対応できる指導体制の強化、総合地域スポーツクラブの育成等を図るなどスポーツ環境の整備を推進します。

●主な施策

- ・大田原マラソン大会および大田原車いすマラソン大会
- ・美原公園管理事業
- ・学校開放施設整備事業
- ・屋内温水プール管理
- ・芭蕉の里くろばねマラソン大会

●評価委員の意見

・マラソン大会の経費削減を図り、より効率的な運営に努めてください。

・市民の生涯スポーツの普及・振興を図るため、スポーツ施設を整備し利用しやすい環境を整えることは大切なので、今後もよりよいスポーツ環境の整備・管理に努めてください。

・本球場周辺の駐車場を利用しやすいように整備を図ってください。

・学校開放施設の屋外トイレの水洗

化については今後も引き続き計画的に進めてください。

・温水プールは市民の健康保持増進に大きな役割を果たしているため、今後も計画的に修繕などを行い、快適な施設環境の保持に努めてください。

●今後の事業の方向性

・大田原マラソン大会への関心が高まり、年々参加者数が増加していることは評価できるので、内容の一層の充実を図り継続して開催する。

・学校施設の開放は今後も積極的に進める。

・芭蕉の里くろばねマラソン大会は、市民が気軽に参加できるマラソン大会であり、関係団体で組織する実行委員会が運営するなど運営上問題もなく、また、大会に併せて地域の特色をPRするなど工夫も凝らされていますので、今後も継続する。

6 国際交流・国内交流の推進

●目標

国際化時代にふさわしい「ものの見方・考え方」を培い、チャレンジ精神を養うため、国際姉妹都市等との友好交流を推進します。

また、市民と在住外国人との相互理解を図り、共に安心して居住できる環境の構築に努めます。

国内の友好都市とは、教育・文化・産業等の交流事業や災害時の相互支援協定等を契機とした交流を通して友好を深めます。

●主な施策

- ・青少年交流事業

●評価委員の意見

・高校生交流事業は20年以上経過し、所期の目的を達成しており、また、近年は応募状況やホストファミリーの受け入れなどの課題も多く、今後は廃止も視野に入れ十分精査検討してください。

●今後の事業の方向性

・さまざまな体験活動（学校外活動）をとおして見聞を広めさせることにより、次代を担う青少年の行動力やリーダーシップ、コミュニケーション能力などを育成する国際交流・国内交流の推進事業は大変有意義なので継続していく。

市教育委員会は、平成22年度事業に対する点検評価を今後の改善などに生かすことにより、教育施策の推進に努めてまいります。

■問い合わせ

教育総務課総務係
TEL (98) 71111

【お詫びと訂正】

広報おおたわら10月15日号の13ページ「芭蕉の里くろばね秋まつり」の日に誤りがありました。

正しくは「11月3日（木・祝）です。お詫びして訂正いたします。

■問い合わせ

芭蕉の里くろばね秋まつり実行委員会
黒羽商工会

TEL (54) 0568